

# カロナール<sup>®</sup>錠を服用される方へ



このお薬には、アセトアミノフェンという熱や痛みをやわらげる成分が含まれています。

アセトアミノフェンは中枢神経にはたらきかけて解熱鎮痛効果を発揮するほか、体温調節中枢に直接作用して熱放散を増大させ、熱を下げます。

通常、頭痛、腰痛、歯痛、変形性関節症などの鎮痛や、急性上気道炎、小児科領域の解熱・鎮痛に用いられます。

## 次のような方は服用する前に必ず医師や薬剤師にご相談ください

- アルコール類を毎日たくさん飲んでいる方……………肝障害があらわれやすくなります
- 栄養状態が悪く脱水症状のある方……………肝障害があらわれやすくなります
- 肝臓病の方・以前に肝臓病にかかったことのある方……………肝機能が悪化する恐れがあります



## カロナール<sup>®</sup>錠を痛み止めとして服用する場合(成人の場合)

### 飲み方

■ 医師の処方・指示した用量で正しく服用してください。

- 1回の投与量……………300～1000mgを服用
- 1日総量……………4000mgを限度とする

■ 服用の際は4～6時間以上の間隔を空けてください。

■ 空腹時のご使用は避けてください。



### 飲み忘れたときは

できるだけ早く1回分を飲んでください。  
ただし、次に飲むまでに時間が短い場合(4時間未満)は、忘れた分は飲まず、次に飲む時間に1回分を飲むようにしてください。

※絶対に2回分を一度に  
飲んではいけません



## カロナール<sup>®</sup>錠を急性上気道炎の解熱・鎮痛として服用する場合(成人の場合)

### 飲み方

■ 医師の処方・指示した用量で正しく服用してください。

- 1回の投与量……………300～500mgを頓用(服用回数は原則2回まで)
- 1日総量……………1500mgを限度とする

■ 空腹時のご使用は避けてください。



## カロナール<sup>®</sup>錠を小児の解熱・鎮痛として服用する場合

### 飲み方

■ 医師の処方・指示した用量で正しく服用してください。

- 1回の投与量……………体重1kgあたり1回10～15mgを服用
- 1日総量……………60mg/kgを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。

「小児科領域における解熱・鎮痛」の効能又は効果に対する1回あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして500mg、1日あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして1500mgである。

■ 服用の際は4～6時間以上の間隔を空けてください。

■ 空腹時のご使用は避けてください。

## アセトアミノフェンの過量投与について

アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現する恐れがあります。服用の際は医師の処方・指示に従って服用してください。



医師の処方に従って服用すること

## アセトアミノフェンを含む他の製剤との併用について

アセトアミノフェンは、医師の処方により使用される場合と、一般用医薬品（市販薬）の成分の1つとして使用されている場合も多くあります。カロナールとアセトアミノフェンを含む医薬品との偶発的な併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現する恐れがあります。



アセトアミノフェンが含まれている他のお薬と一緒に服用しないこと。



## 服用後のご注意（副作用等）

このお薬の主な副作用として、過敏症（発疹）、肝機能障害などが報告されています。次のような症状に気づいたら、医師または薬剤師にご相談ください。

**息苦しさ、全身の発赤、じんましん、けん怠感、食欲不振、  
皮膚や白目の黄色化**

※この他にも気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

施設名



製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先）

あゆみ製薬株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座4-12-15  
<https://www.ayumi-pharma.com>

E00456  
2022年2月作成(A-22C)